

日々
往来



大山 陽久

多額の債務を抱えるギリシャが、国民に我慢を強いる厳しい緊縮策をとって経済構造改革を進めるか、それとも欧州連合から離脱して他国の干渉を受けずに自由奔放な政策をとるか、この1カ月間、世界中の注目を集め

ギリシャ危機の教訓

日本でも連日大きく報道 翻って、同じく多額の債務を抱える日本に目をされた。

国によって文化・習慣が大きく異なる欧州の中で、堅実性を重んじるゲルマン系諸国と、楽天的で柔軟性の高いラテン系諸国の考え方の違いは、しばしば見られている。ただ今回、ギリシャが真剣に悩んだ結果、自分が陥っている経済を再び成長軌道に復するため、特効薬は存在せず、経済基盤の改善に地道に努力するしか道はないというところであろう。政治力や弁論術で一時的に苦境を切り抜けても、徐々に経済基盤が損なわれていけば、最終的にはどうしようもない状況に追い込まれてしまう。

（日本銀行鳥取事務所長）